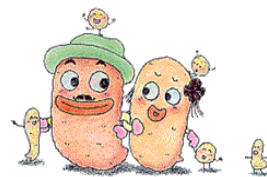


## 湯戸飛夜いけいけだより



Jinen Joe family

発行 西徳山まちづくりの会

## 記事:

- ・ 京都へ研修視察に行きました
- ・ 連載小説  
『涙にぬれた蒼き  
思いー徳山七土物  
語』第11回
- ・ 平成30年度の活  
動を検証する
- ・ 今後の行事予定

## 会員募集中

あなたも「西徳山  
まちづくりの会」  
で一緒に活動しま  
せんか。会では、  
常時、会員を募集  
しています。

E-mail:

nishitokuyamamatizuk  
urinokai@gamail.com

## 京都へ研修視察に行きました

2月2日から1泊2日で、京都へ研修視察に行ってきました。早朝から新幹線を利用して、午前10時前には京都駅に到着しました。そして、そのままJR奈良線で宇治へ向かいました。

宇治駅に降りた瞬間、抹茶の香りが方々から漂い、静観とした街並みは大変良い景観でした。

最初に、平等院鳳凰堂に向かい、栄華を誇った平安の藤原文化にふれ、併設されたミュージアムでは、たくさんの木彫りの仏像、装飾物などを目にしました。細部まで精巧に作られた当時の職人の高い技術に驚かされました。



昼食は、参加者全員で、「こしが有り」、「風味も良く」、「のどごしの良い」、三拍子揃った名物の茶そばを美味しくいただきました。（お店のお姉さんも多くの客を捌きながらも愛想が良かった！）定食メニューには「いなり」が付いており、中身は米の代わりにそばがぎっしり！そばづくしで大満足、おなかいっぱいになりました。

昼食後、別腹と言いつつしながら、抹茶ソフトクリームや抹茶をいただく者もいて、多くの店の中で、当店が宇治抹茶の本家と宣伝する愉快なご主人の話を聞き流しながら、それぞれが街の雰囲気やグルメ、買い物を堪能しました。

その後、源氏物語ミュージアムに徒歩で向かい、今も世界中に愛される作品を肌で感じ、そのまま近くにある宇治上神社にも立ち寄りしました。この神社は、世界文化遺産に登録されており、現存する日本一古い神社として静謐な空気を感じました。

伏見では、月桂冠大倉記念館で、酒造の歴史を学び、日本酒の試飲をした後、坂本龍馬が滞在していた事で有名な「寺田屋」の外観を眺め、宿泊先の「金波樓」に到着しました。

旅館の楽しみはお風呂で、「金波樓」の大浴場は「ほうじ茶風呂」となっており、豊潤な香りを感じながら、体の芯まで温まりました。また、翌日の朝風呂は、「緑茶風呂」となっていました。

風呂上りには、参加者全員が食事を準備されている部屋に集まり、上品な京料理を堪能しました。その後、京の風呂敷購入組、京都でカラオケ歌い倒し組、宿でまったり組の3グループに分かれ、それぞれに冬の

京都の夜を満喫しました。

翌日は、京都市営バスで金閣寺に向かいました。拝観券を購入すると、なんと「御札」。外国人観光客などは喜んで、大事にかばんに収めていました。広大な庭園に光る金色の建立物に目を細めながら順路を辿ると、離れに茶室「夕佳亭」が。華やかさの中に質素な佇まいに、日本の景観美や文化の高さを再認識しました。

最後は京都駅に戻り、各自お土産を探索し、広い駅ビル内を右往左往した後、両手一杯のお土産を抱え、新幹線で帰途につきました。

京都は観光の街で、再度ゆっくり行きたい

と思いました。驚きは、外国人観光客の多さで、名所では日本人を探す方が難しいほどでした。古都でありながら、外国語が飛び交う不思議な感覚も味わいました。最近の外国人観光客の増加で、外国語表記の増加、公共交通機関のアナウンスも多国籍、普通に外国語で接客する店員がいるなど、肌で国際化も感じられました。

ただ、この会の研修視察については、たくさん歩き（初日は2万歩を超えていました）笑いの絶えない楽しい視察だったのは、変化を感じませんでしたけど・・・。

(由)

宇治上神社



月桂冠大倉記念



寺田屋



平等院鳳凰堂



春光の内て遠くの仏見る

浮船の身を投げ給う宇治川は  
流れは速き今も昔も



節分に茶の香ただよう宇治の宿



金閣寺

金色を映す水面に馬酔木花





## 連載小説

# 『涙にぬれた蒼き思い—徳山七士物語—』 第11回 文 城山 耕作

江田市之進、小坂次郎佐が暗殺された2日後の8月14日、広島では長州征討のために集結した15万の幕府軍が、軍議を重ねていた。参謀西郷隆盛は、この戦の早期解決を図るため、数人と岩国領に入り、長州藩が幕府に恭順を示すよう方策を示していた。

徳山藩では、野上家老の命で田中一学たちが尊王を標榜する藩士の取り締まりを続け、17日には、浅田又之丞の屋敷にも徳山藩士が捕縛に来た。

屋敷では、浅田又之丞が実父浅田栄三郎と面談中で、捕縛に来た徳山藩士の姿を見るや「お前たちは、なぜ小坂次郎佐を殺害した？」と浅田又之丞は血相を変え、怒りの声を浴びせてきた。二人は小坂次郎佐の実兄と実父で、ともに剣に長じており、一瞬にして緊迫した空気となった。

「我々は、浅田殿をお連れするように殿の命令を受けている。小坂殿の件は、我々では分かりかねる。どうか、藩命に従ってご同行願いたい。」と一人が声をかけると、浅田栄三郎が、「又之丞、次郎佐の件は殿に直接お尋ねし、野上家老の失政を明らかにするために、ここは同行したらよい。」と、浅田又之丞に同意を促した。一刻のやり取りを繰り返し、浅田又之丞は屋敷を後にした。

同時に、田中一学をはじめとする数人の徳山藩士が、本田久太夫の屋敷にも向かっていた。

他藩の槍術指南役も務めた本田久太夫を捕縛するため、各自が長い棒を持ち、一様に緊張から表情は硬かった。

屋敷玄関で「本田殿、藩命である。我々とご同行願いたい。」と一人の藩士が声を張り上げると、全く反応なく、「踏み込め！」との合図で一斉に屋敷に突入した。家人は皆、恐怖と驚きの表情で部屋の隅に固まり、庭にいる本田を一斉に取り囲んだ。「無礼者が！」と大声で反応があったが、剣も槍も手元近くに無く、本田は抵抗も空しく捕縛されてしまった。

岩国領では、吉川経幹（きっかわ つねまさ）が先に軟禁していた河本源蔵を徳山藩へ移送する指示を出し、18日、身柄が徳山藩へ引き渡された。

徳山藩内で捕縛された志士は浜崎の牢獄に収監され、大城清、井上唯七、浅田又之丞、本田久太夫、河本源蔵も監視下に置かれた。

「岩国の吉川経幹様から萩の殿に、先の京都での敗戦の責をとって、主だった家老や重臣を処分し、幕府に恭順の姿勢を示す意見が進言されたと椋梨殿から早馬が来た。わが藩も、牢にいる者どもの取り調べを早々に切り上げ、幕府に睨まれぬようせねばならぬ。」と傷が痛み苦しい息で野上家老が田中一学に指示すると、「ご家老のご指示により、どのようなことでもいたします。」と神妙な答えが返ってきた。

長州藩全体では、先の京都の戦いで活躍した奇兵隊や遊撃隊などの諸隊が解散に追い込まれる勢いで、益田右衛門介、福原越後、国司信濃の三家老を始め、穴戸左馬介、中村九郎、佐久間佐兵衛、竹内正兵衛などの四参謀も蟄居禁門を申し付けられ、広島に集結している幕府軍15万の圧力が日増しに効いていた。

(以下次号)



奇兵隊



## 西徳山まちづくりの会

### 編集後記

私たちのまちづくり広報であるこの「いけいけだより」は、第45号になる。1年4回の発行であるから、11年続いたということだ。では、何が私たちをして続けせしめているのだろうか。それは読者の皆様の温かい反応であったり、道の駅のインフォメーションで、手に取って持ち帰る人があったり、戸田駅の掲示板に貼ってある拡大版「いけいけ便り」を立ち止まって、読んでいる人を見かけたりすることである。そのことが、この広報を続けてこられた理由であることは、言を俟たない。

私たちのまちづくり活動も、行政と力を合わせて実現してきたことが、励みになっていることは間違いないことである。

駅前の花づくりや環境美化作業についても、何らかの励みが必要であるとの思いから、花壇コンクールに応募したりもしたが、なかなか良い結果は生まれなかった。しかし、私たちの活動拠点である戸田駅前に一年を通じて花を植え、美化活動を行っていることが、私たちの矜持である。

発行責任者

会長 神本康雅  
広報部長 木曾裕子

西徳山まちづくりの会

ホームページ URL:

nishitokuyama.web.fc2.com

# 平成30年度の活動を検証する

(1) 戸田駅を中心とした活動を継続する。

- ①毎月第2、第4土曜日に戸田駅前の清掃及び花壇の手入れを実施した。花は、年に2回植え替えている。夏場の花壇の水遣りを当番で行った。
- ②戸田駅前広場で7月28日と10月13日に「駅前ビアガーデン」を開催した。又、開催時間を昼食時にあわせ、12時30分開始とした。

(2) 「道の駅ソレーネ周南」を拠点とした活動に取り組む。

- ①『ソレーネ周南イベント実行委員会』に会から委員を出した。また、平成30年5月20日開催の「ソレーネ周南4周年記念」及び平成30年11月11日開催の「西徳山いけいけ大収穫祭 in ソレーネ周南」にイカ焼きで屋台村に参加した。

(3) 西徳山の発展を目指した新たな活動に取り組む。

- ①地元の有名人について、いけいけだよりに記事を掲載した。
- ②ウォークMAPの原案は作成済みで、事務局でどのような形にするかを検討中です。

(4) 交流・研修・広報活動に取り組む。

- ①2月2日(土)～3日(日)に京都で宿泊研修を行った。
- ②広報誌を3ヶ月ごとに年4回発行し、新聞折り込みで湯野、戸田、夜市地区に配布した。

(5) 組織を充実し拡大する。

- ①今年度は、会員増はなかった。
- ②毎月1回、映画鑑賞会を開催した。

(6) 他の諸団体と連携し効果的な活動を展開する。

- ①平成30年10月28日に熊毛地区で開催された「周南こどもゆめまつり」にイカ焼きで屋台村に参加した。
- ②戸田駅前花壇で「公園花とみどり課」と「種から育てる花作り」を連携して進めた。



今後の行事予定

### 西徳山まちづくりの会全体会

原則として毎月第1水曜日の19時30分から夜市市民センター

### 戸田駅前広場周辺の清掃

毎月第2、第4土曜日の17時から、戸田駅前広場の清掃と花壇の手入れを行っています。

お手伝いしていただける方、大歓迎です。